

知りたい事、知っておきたい事 小松原

1. 宝珠錫杖地藏菩薩座像(ジゾウサン)

- ① 小松原上条(上之城)の説教場には宝珠錫杖地藏菩薩座像がある。(写真右)高さ(台座35mm, 蓮華座65mm、座像100mm)、台座幅140mm、同奥行110mm、背後には光輪が添えられ、着色が施された小さな木地藏である。その由来については不明だが、現状は従前の傷んだ漆塗の厨子が新調されて仏壇の後部に安置されている。
- ② 『役方要用記』(小松原村山内家文書)によると、文政2年(1819)ごろには「地藏堂寺山ニ御座候 堂壺宇但九尺四方」(約3メートル四方)とある。
- ③ 寺山は当地古来の墓所で火葬場もあって、その地名を「ジゾウサン」と口碑されてきた。この地藏堂に在った像が説教場に遷座されたものと推察する。



宝珠錫杖地藏菩薩座像

文政8年(1825)の『芸藩通志』の村図には地藏と記され、合わせて堂影も見られる。

2. 廃養蔵寺

- ① 『郷土史 早田原村』(昭和8年刊)には「養蔵寺ハ小松原ニアリ 福島安芸神時代ニ禅宗ニシテ 宇正田ニアリシガ モト本堂ナク 鐘樓ノミ存セシヲ安政五年(1858)現存、地ニ再建シ 眞宗説教所トナシタリト言フ。」と伝えている。
- ② 『芸藩通志』には「小堂あり」と記され、村図には養蔵寺跡、寺屋敷、寺田(てらね)が記されている。当地は日高八幡神社の北西側にあたる。一帯(ジゾウサン南側)は昭和初期の三呉線(JR呉線)の工事によって掘割された。その際、散在した五輪墓石が出たと言われる。養蔵寺跡である畑の脇を通り、線路上に架かる橋(鬼橋)を渡ってジゾウサンへ行く、ジゾウサンからは小松原の海がひろがっている。



- ③ 説教場には往時を偲ぶものとして「御本山冥加錢筥」がある。「東永山、安政五年戊午正月日調之者(物)也」と付記されており、その東永山は養蔵寺の山号と推察する。

・口碑の(ジゾウサン)の地名、説教場に残された「冥加錢筥」等、そのほとんどが風化の一途を辿っています。競い合い先を急ぐ現代社会にあって、先人達や私達の足跡、ふるさとの宝を未来に伝えていきたいものです。



『編集後記』

あれよあれよで今年度の最終刊になりました。歳を取ると時が経つのは早いといわれますが体感できる年齢になり感じ入るところがあります。区民の皆さまはすでにこの域を通り過ぎられたのでしょうか？広報部の部員は少人数でしたが、各人が積極的に参加し熱意を持って取り組まれたので、当初抱いた不安は徐々に薄らぎ楽しく活動できました。なお、作成にあたり寄稿をお願いいたしました皆さまには、その都度快く応じていただき当方の企画・編集作業が円滑にすすみましたこと誌面を借りて心よりお礼申し上げます『七味』は拙い小冊子ですが、毎号各戸へ配布することで地域へ還元できましたことを音員一同喜んでおります。最後になりましたが皆さまがこの小松原で永く健康で楽しく過ごされ、今後も小松原自治会の活動を一層盛り立てていただけるよう、お願い致します。(K)

編集部員

【これからも原稿を募っています。下記の編集部員へご連絡下さい】

増田法生	温もりの会会長	45-1639
日浦寿久	新地2区代表・自治会幹事	090-3634-5670
松田陽子	下条1区代表	45-1375
木谷英幸	上条4区代表・自治会副会長	45-2227
木戸康裕	上条3区代表・広報部部长	45-2087

平成27年3月

お詫びと訂正

『七味』2014年12月23日発行の「豊田高校だより」(P9)の記事の中で教頭名に誤りがありました。

(誤) 盛岡達治

(正) 森岡達治

訂正の上、お詫びいたします

わたしは羊♡♡♡。手紙や本なんざあ食べたりしないよ！ましてやおいしそうでも七味をかじったりするわけないじゃろう！（怒）



お知らせ

七味が東広島市のホームページから検索できます。カラー写真が鮮明に見られます。是非ごらんください。

検索の仕方は次の通りです。

東広島市のホームページ → 小松原自治会 → おしらせ